

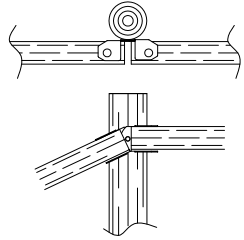
リサイクルプラスチック製擬木

プラウッドフロントビーム柵(土中式) 施工要領

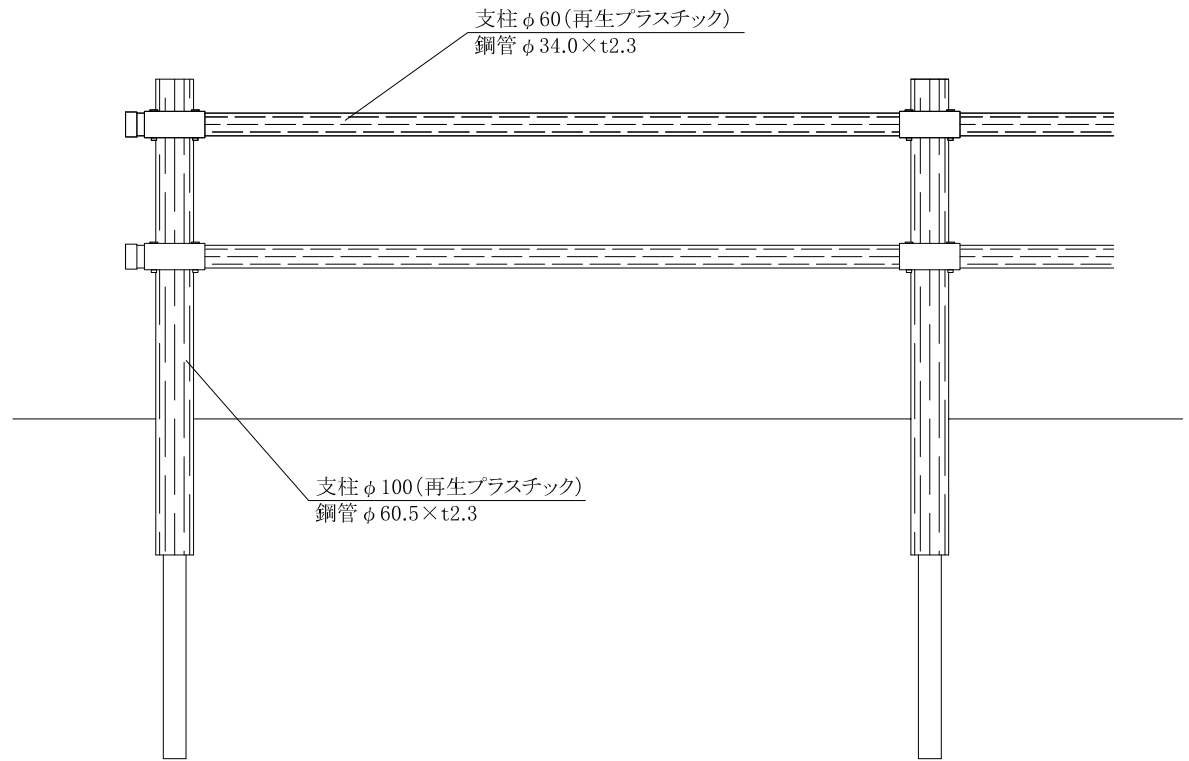
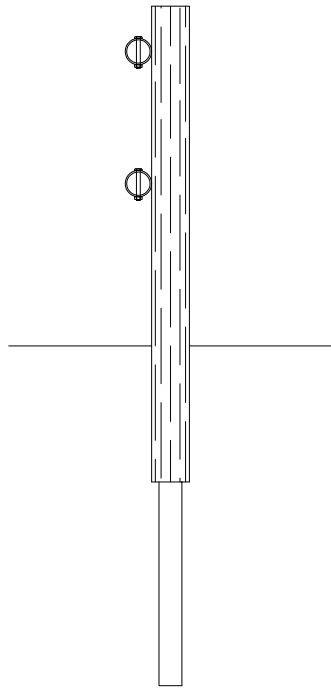
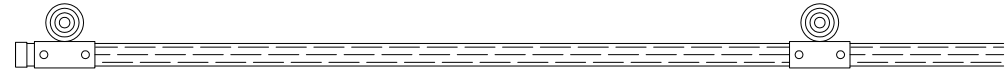
リス興業株式会社

〈プラウッド二段フロントビーム外柵構造図〉: 支柱間ピッチL=2000共通

《勾配変化及びコーナー部》

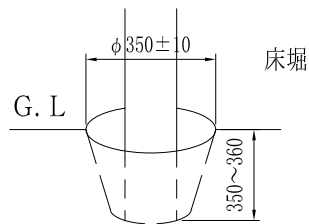


●勾配変化部及びコーナー部は自在ジョイントを使用します。



〈組み立て方法〉

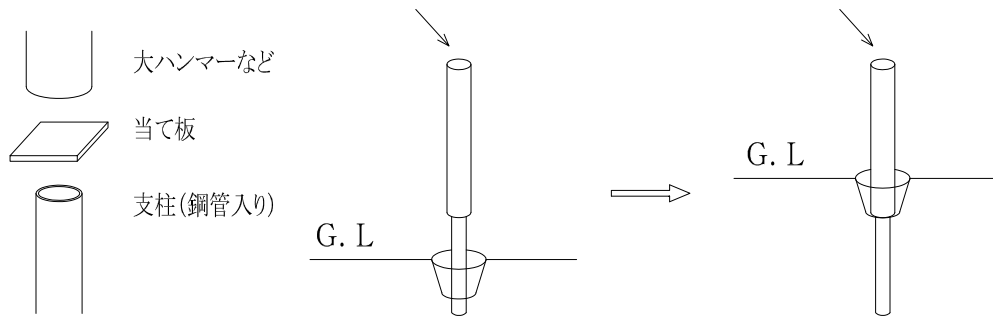
必要工具: ◎メジャー (現場状況に応じて)
◎水糸 ◎高速カッター
◎M10・M12用ラチェットレンチ ◎電動ドリル(φ14)
◎床掘オーガなど
◎水平器
◎勾配定規
◎大ハンマーまたは0.28程度のバックホー



①支柱樹脂部分を埋め込むための、床掘を行います。

☆注意事項①

※樹脂と鋼管が一体型の支柱のため、打ち込み機の機械等では頭部が割れるため使用できません。
地盤の状況によっては床掘部分を多く掘削する必要があります。
また、バックホーのサイズも状況により大きなものが必要となることもございます。



☆注意事項②

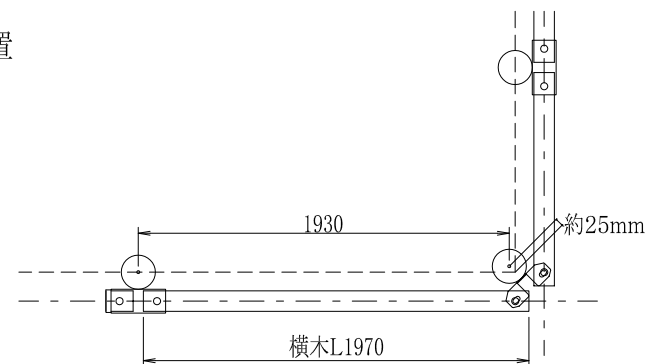
※横木寸法は(L=2000)を十分確保出来得る長さで成形しておりますが、リサイクルプラスチックを原料としているため、各横木の長さに多少の差異が生じることがある場合があります。

②床掘を行った穴に、支柱を打ち込みます。(頭部年輪部分が痛まないように当て板などを使用してください。)

〈平地・勾配支柱設置注意事項:端部・中間・外コーナー・内コーナー〉

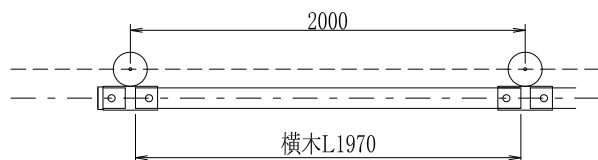
必要工具: ◎メジャー
◎水糸
◎水平器
◎勾配定規

外コーナー支柱設置



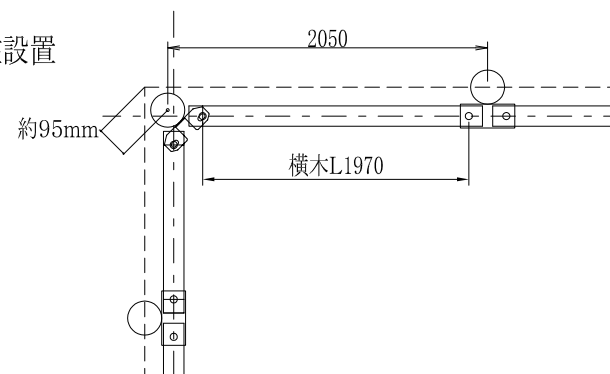
①外コーナー支柱の設置は支柱芯より約25mm外側に設置します。
支柱間はL1930で建込みをお願いします。

平地端部・中間支柱設置



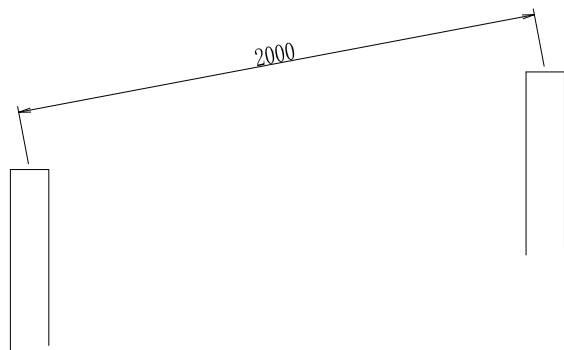
①端部・中間支柱の設置は支柱芯L2000で設置をお願いします。

内コーナー支柱設置



①内コーナー支柱の設置は支柱芯より約95mm内側に設置します。
支柱間はL2050で建込みをお願いします。

勾配端部・中間支柱設置



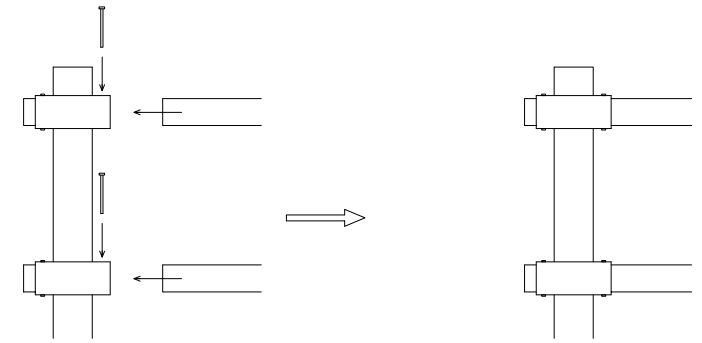
①端部・中間支柱の設置は支柱芯L2000で設置をお願いします。

☆注意事項

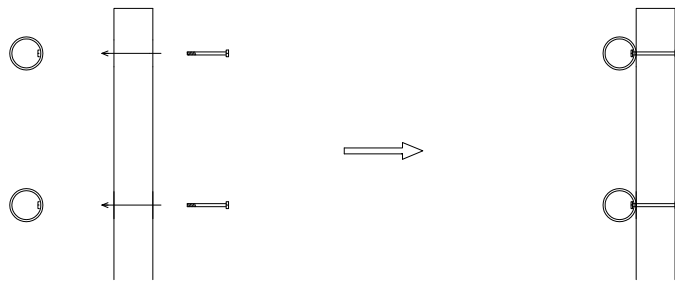
※支柱間ピッチL2000はあくまでも呼称ですので、コーナー箇所によっては該当しない場合がございます。(横木L1970は固定です。)

〈端部組み立て方法:平地・勾配共通〉

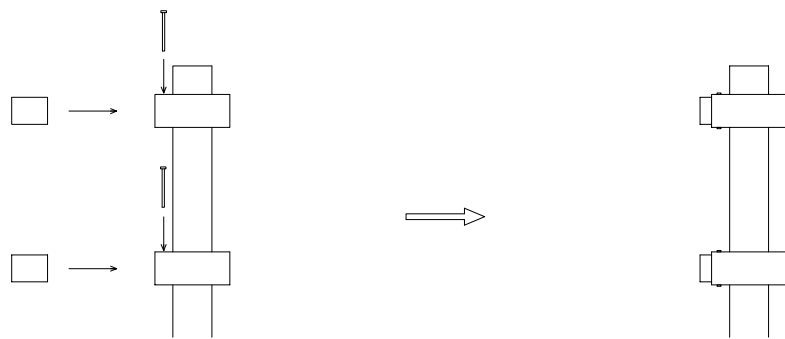
◎ボルト締めにはM10・12用のラチェットが必要です。



③ジョイント管に横木を差し込みます。
その後、ボルト締めを行います。



①支柱にジョイント管を差し込みます。
その後、ボルト締めを行います。



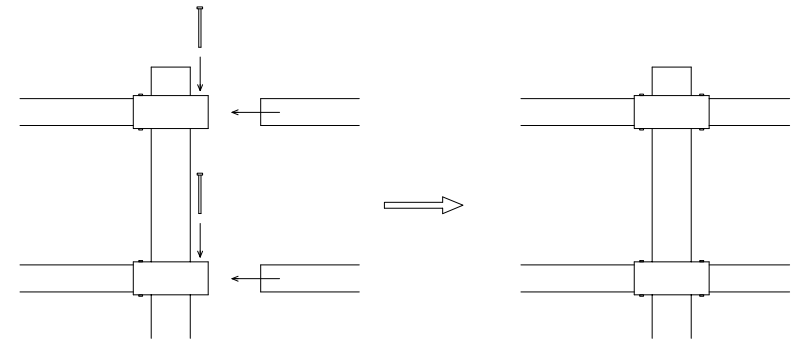
②ジョイント管に端木を差込みます。
その後、ボルト締めを行います。

☆注意事項

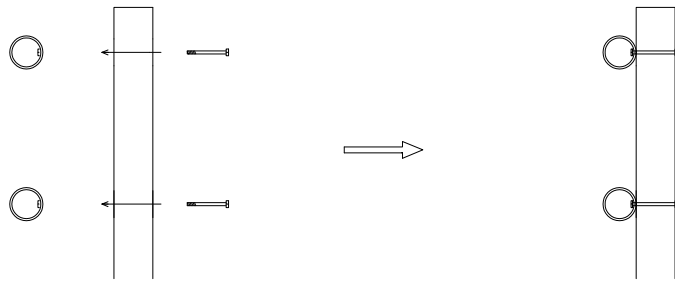
※支柱と横木のボルトは緩みが無いようにしっかりと締めて下さい。

〈中間部組み立て方法:平地・勾配共通〉

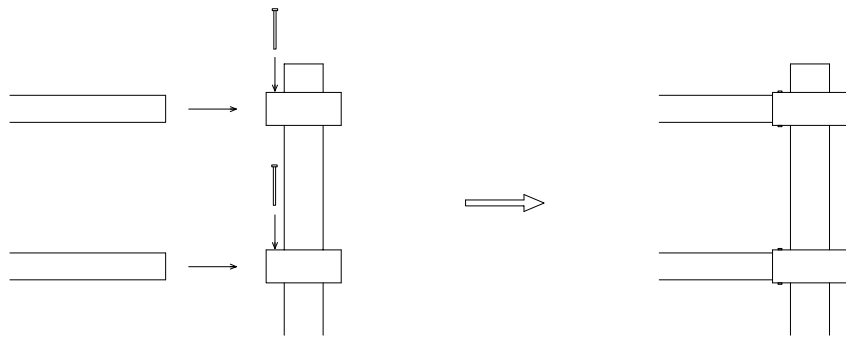
◎ボルト締めにはM10・12用のラチェットが必要です。



③反対側も同様にジョイント管に横木を差し込みます。
その後、ボルト締めを行います。



①支柱にジョイント管を差し込みます。
その後、ボルト締めを行います。



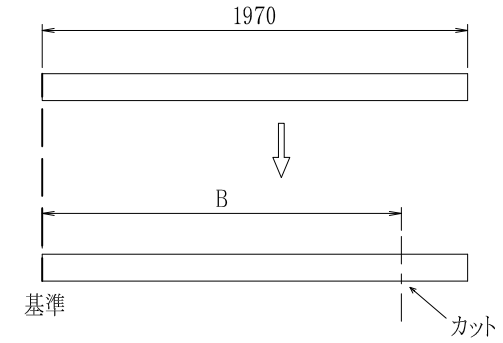
②ジョイント管に横木を差込みます。
その後、ボルト締めを行います。

☆注意事項

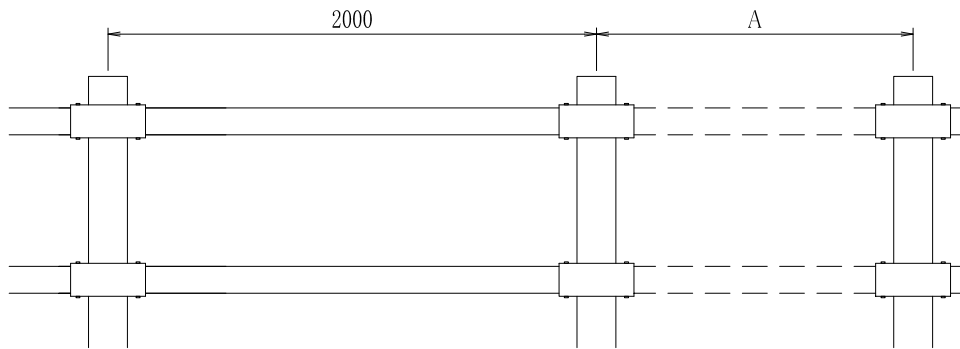
※支柱と横木のボルトは緩みが無いようにしっかりと締めて下さい。

〈短スパン横木加工方法:平地・勾配共通〉

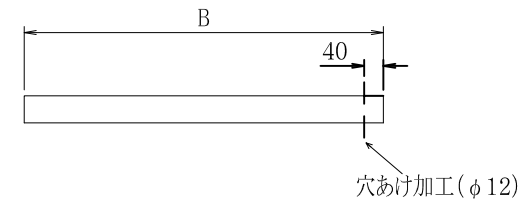
- ◎横木カット加工には電動カッターが必要です。
- ◎横木カット加工には電動ドリル(φ12用)が必要です。



③標準品の横木1970を片側を基準としてB寸法となるようにカットします。



①A部短スパン横木加工を行うにあたり、支柱の中心間で実測を行います。



④カット加工したものに貫通穴あけ加工(φ12)を行います。

②A部実測後、下記公式に当てはめて計算します。

A寸法:支柱間
B寸法:横木長

公式: $A \text{ 寸法} - 30\text{mm} = B \text{ 寸法}$

※例として:A寸法を1200とすると、
: $1200 - 30\text{mm} = 1170$
: 1170mmとなる。

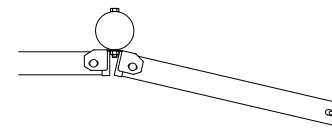
☆注意事項

※カットを行うにあたり、必ず現地実測の上、加工をしてください。

〈コーナー部組み立て方法:平地・勾配共通〉

必要工具: ◎ボルト締めにはM10・12用のラチェットが必要です。

緩い内コーナー部(20° ~)



③反対側も同様にジョイント管に横木を差し込みます。
その後、ボルト締めを行います。



①自在金具にて支柱・金具・横木を固定します。

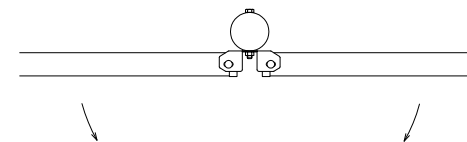


②横木を次の支柱に合う位置に力を加え、自在金具を曲げます。
③同工程を繰り返して柵を設置してください。

〈コーナー部組み立て方法:平地・勾配共通〉

必要工具: ◎ボルト締めにはM10・12用のラチェットが必要です。

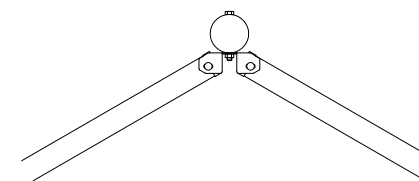
内コーナー部(20° ~)



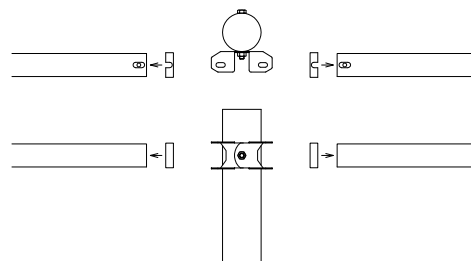
③指定の角度に合わせて固定します。



①コーナー部に設置する横木の端部を20mmカットし、端末キャップはボルトが干渉する部分をカッターで切り取ります。



④続きを放置していきます。



②横木に端末キャップを付け、ボタンキャップボルトで固定します。